



## たとえ涙がこぼれても 思わぬ所に芽がでるよ

これは、太田朋さんという絵本作家の方の作品（ポストカード）の一つに書かれている言葉です。私自身、この言葉に励まされたことが何度もありました。

私たちは、それぞれの人生において、常に順風満帆ということはあまりないことです。何かしらの壁にぶち当たったり、失敗したりすることの方が多いものです。自分なりに頑張ったのに、思うような成果が得られず、悔しい思いをすることもあるかもしれません。そんなときは、この言葉を思い出してください。「たとえ涙がこぼれても思わぬ所に芽がでるよ」・・・自分なりの目的を持って努力したことが、その目的に沿う形で成果にならなかったとしても、その努力は決してムダではないということです。必ずあなた自身の力になっているということ、忘れないでください。それは、すぐには気づかないかもしれませんが。しばらくして、もしかすると何年かして、「あのときのことが役に立っている。」ということを実感するかもしれません。その意味では、「努力は裏切らない。」と言えるかもしれません。

しかし、「努力は裏切ることもある。」と言った人がいます。元体操選手の内村航平氏です。彼は、東京オリンピックで金メダルが期待され、自身もそれを目標にプロ転向もしましたが、予選で鉄棒から落下してしまいました。テレビを見ていた誰もが、非常な驚きをもって見つめていたと思います。当時は、彼自身、私たちの想像を超える絶望感を味わったことでしょう。しかし、彼は落ち込んでいるばかりではなく、「これまでの努力は、決して足りなかったとは思わない。努力をしても結果にはつながらないことを経験した僕が、努力は報われることを証明するために、体操を続ける。」と、次の目標に向けて練習を再開したそうです。失敗を引きずるのではなく、前向きな姿勢でいるからこそ、偉大な結果をこれまでも残してきたのだろうと感じました。

この話を聞き、あらためて「努力」とは何だろうと考えました。夢や目標に向かって努力しても、すべて最高の結果につながるとは限りません。むしろ、そうならないことの方が多いでしょう。そうであるなら、結果だけにこだわるのではなく、夢や目標をもつこと自体がエネルギーとなり、プロセスを重視し実行することで人生を豊かなものにする・・・このことが「努力」ということの価値なのではないでしょうか。そして、そのように考えられる人には、「思わぬ所に芽がでる」のだと思います。夢や希望をもち、それを追い求めていこうとする姿勢をもちたいものですね。



(無料イラスト「イラストAC」より)

## 思いやりの心を持って

先月27日に、新型コロナウイルスに関する国の新しい方針が示されました。現在主流となっているオミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなどの特別の事情が生じない限り、新型コロナウイルス感染症は、5月8日から5類感染症に位置付けることとされました。また、先週の金曜日には、卒業式でのマスクの取扱いなどについても示されました。徐々に、コロナ前の状況に戻りつつあることは、とても喜ばしいことです。しかし、専門家の中には、この緩和ムードでいっぺんに油断してしまうと、また感染が広がるのではないかとという人もいます。決して、不安をあおるつもりはありませんが、徐々に戻していくことが大切だと思います。また、マスクをつけるべきか、はずしてもよいかの状況判断ができることも大切です。そして、個人の判断に委ねられたときに、トラブルが起きないようにすることも重要です。マスクをはずしたい人、はずしたくない人の両方がいることを理解し、お互いに尊重し合うことを心がけましょう。思いやりの心が大切ですね。